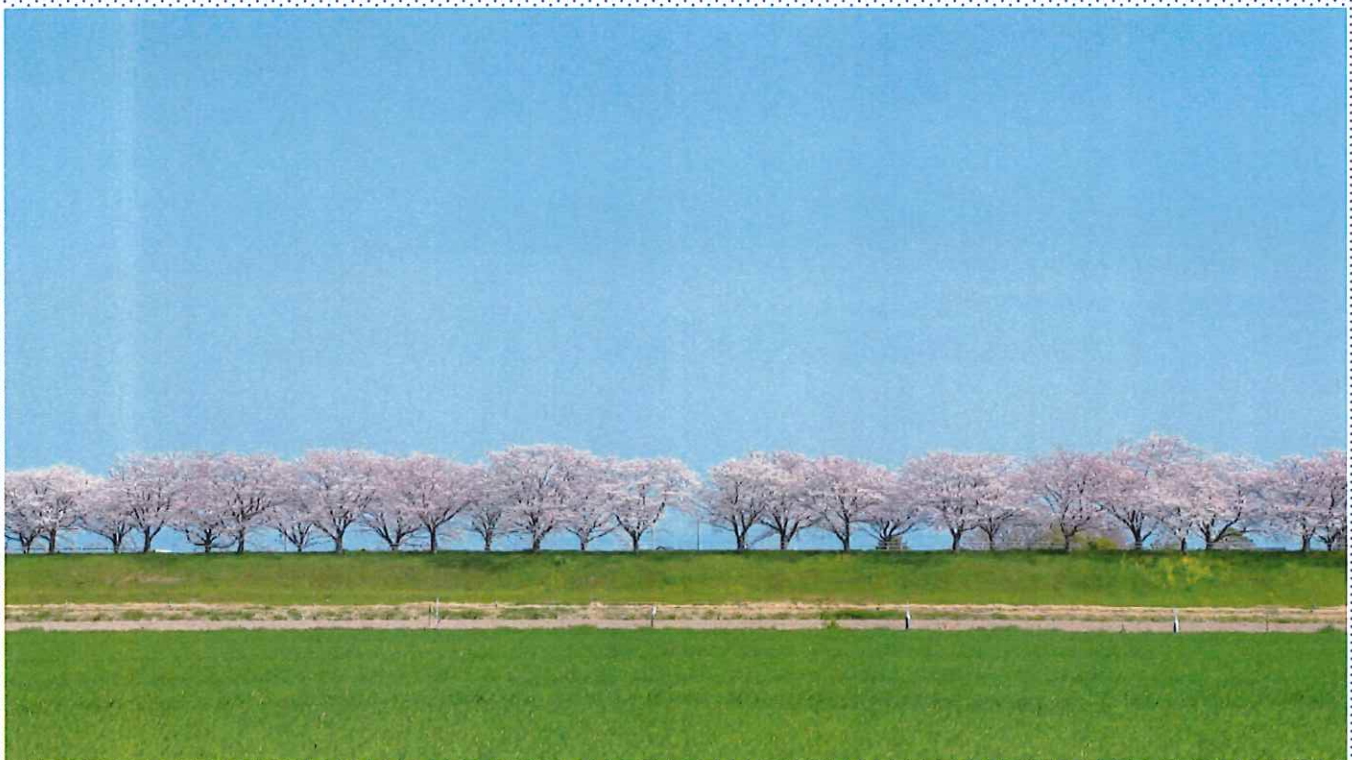


大阪 2026 年 春号

プレス 会報

OSAKA METAL STAMPING ASSOCIATION'S NEWS



| | | |
|----------------------------------|-----|--------|
| ◆令和 8 年 新春特別講演会 | ・・・ | 1 ~ 2 |
| ◆令和 8 年 賀詞交歓会 | ・・・ | 3 ~ 4 |
| ◆金属プレス研修塾 大阪鋼圧見学 | ・・・ | 5 ~ 6 |
| ◆各委員会・青年部会 活動報告 | ・・・ | 7 |
| ◆金属プレス加工技術展 2026（大阪） ご案内 | ・・・ | 8 |
| ◆動力プレス機械の金型調整の業務の 特別教育（学科）の開催 | ・・・ | 9 ~ 10 |

第 14 回 社員総会のご案内

『出欠通知 兼 委任状』のはがきを同封します
社員総会にご欠席の場合は、必ず『委任状』をご投函下さい

令和8年 新春特別講演会

◆ 日時

令和8年（2026年）1月28日（水）16:00～17:15

◆ 場所

シェラトン都ホテル大阪 3階「金剛の間」

◆ 出席者

43名（ご来賓、講演者の関係者及び工業会の会員）

◆ 講師

田岡 秀樹 氏 （元 本田技研工業(株) 四輪事業本部設備金型企画推進室室長）

◆ 演題

世界の自動車の行方 2026 - 2030 金属プレス技術が果たす重要な役割と未来予想図 II

新年賀詞交歓会に先立ち、恒例の新春特別講演会を開催いたしました。お忙しい中にもかかわらず、ご来賓と工業会の会員等から43名の方にご参加頂きました。

今回の講師の田岡氏は、元・本田技研工業(株)で長く勤務され、現在は切削工具メーカーの(株)タンガロイでアドバイザーを担当されております。

※略歴は P.2 参照



【ここからはご講演内容を要約して記載いたします】

まず、世界の新車販売実績の推移（2017年・デロイトトーマツコンサルティング発表）ですが、2009年に6,400万台、2017年に9,000万台、2030年に11,900万台の予想がされていました。ただし、おそらく達成は難しいのではと思います。何故ならば、2020年のコロナ禍から2025年まで9,000万台で足踏み状態になっており、電気自動車は2017年に5%、現在は特斯拉やBYDが出てきましたが、10%にも満たないレベルです。なおデロイトトーマツの2030年予測では、30%が電気自動車、つまり残りの70%、8,500万台はガソリン自動車であるということが判ります。

次にTOP10の企業の変遷しているということです。2024年はトヨタが首位をキープ、2位はVW、3位はヒュンダイとなっています。また、ホンダと日産が順位を落とし、一方でスズキが上がってきております。日本国内での順位は1位トヨタ、2位スズキとなっています。私の予想ですが、電気自動車が進んでいくという前提で、スーパープレミアムブランド化とグローバルプレイヤー化が進むと考えていましたが、現時点ではトヨタの動向を注目すべき、そしてローカルメーカー化が進むという予測に変わりました。

そして電気自動車への取り組みですが、例えばホンダはバッテリーケースの薄肉化、トヨタは車体のフロア3分割化のため、メガキャスティングの大型設備と金型技術の開発を行っています。これは電気自動車の製造原価の削減を狙ったものですが、バッテリーや新工場の建設の為に大型投資や市場の不安定さが課題となっています。

さて今、特斯拉の電気自動車が脚光を浴びていますが、実は自動車メーカーの最終的な目標は電気自動車の開発と上市ではないのです。車体の軽量化と工程短縮による世界最速開発（製造リードタイムの削減）だと思います。特斯拉のギガキャスティングや日本勢のメガキャスティングによって車体の軽量

化と工程短縮、短縮による投資削減が図られています。その結果、自動車メーカーでは製造時のCO₂が、そして、自動車購入者が使用時のCO₂削減に寄与できると考えられます。しかし、私はいきなりギガキャスティングやメガキャスティングを行うのではなく、プレス技術を駆使した一体成型をやるべきだと予測していました。



また、樹脂金型技術では、塗装工程まで巻き込んだ塗装レスの樹脂外板の製造技術を確立すべきと思っています。さらには接合技術、言い換えれば接着技術を徹底的に開発する必要があるし、誰でも簡単に三次元方向に組み立てられるクリップを開発することも必要だと思っています。

もう一つやらなければならないこととして、世界最速開発の取り組みが加速すると予想しています。

1990年代は、マーケットリサーチ、デザインを経て、設計、試作車製造、衝突安全試験等を幾度か繰り返し、量産図の作成や生産拠点での安定供給まで3年もかかっていました。

今は、デザインに魅力がないなど弊害はあるものの、誰でも3Dのモデルを作ることができ、デザインやボディ設計の部署に生産技術の人員を投入し、連携することで、量産図を待たずして、試作図から設備設計等を行うことによって、3年が26~27ヵ月になりました。ところが、デザイン性よりも軽量化や衝突安全性のニーズが高まり、車の骨格部品の高性能化が求められ、試作1号車から量産の設備で作った部品が必要になりました。この動きはますます加速すると思います。

さて最後に4つの観点でプレゼン全体をまとめたいと思います。

1つめは、モノづくりは原点に戻るとしています。去年はAIの創成期といわれていますが、そのAIを積極的に活用し、製造原価を圧倒的に下げていくというモノづくりの原点に戻らなければならないと思っています。

2つめはグローバルプレイヤーの定義が見直されると思います。

3つめはインテリジェンス、価値ある情報です。いかに正確な情報を得て、仮説を立て、未来予想図を作ることは、企業が生き残っていくためには必要だと思っています。

最後4つめは技術開発が必要だと思っています。

以上

田岡秀樹氏 略歴

- 1990年1月 ホンダエンジニアリング(株)
プレス部門の新機種グローバルモデル
プロジェクトリーダー
- 2005年4月 車体塑型研究開発部長/新機種 DE 業務室長
- 2010年4月 執行役員
- 2013年4月 本田技研工業(株) 四輪事業本部設備金型企画推進室室長
- 2022年4月 生産技術統括部車体生産技術部 エキスパート・エンジニア
- 2023年1月 エリコンジャパン(株) バルザース事業本部 シニアアドバイザー
TITAN Indonesia Executive Advisor
(株)狭山金型製作所 バリュークリエーションアドバイザー
- 2023年8月 (株)タンガロイ アドバイザー



令和8年 新年賀詞交歓会



◆ 日時

令和8年(2026年)1月28日(水) 17:30~19:15

◆ 場所

シェラトン都ホテル大阪 3階「志摩の間」

◆ 出席者

55名(ご来賓9名、ご講演者関係者3名、工業会会員40名および関係者3名)

◆ 式次第

| | | |
|--------------|-------------|---------|
| 1. 開会挨拶 | 代表理事 | 林 秀昭 |
| 1. ご来賓紹介 | | |
| 1. ご来賓代表挨拶 | 近畿経済産業局 | 栗原 浩介 様 |
| 1. 祝電披露 | | |
| 1. 乾杯 | 日本金属プレス工業協会 | |
| | 専務理事 | 茨田 学 様 |
| 1. 懇親会(パーティ) | | |
| 1. 閉会挨拶 | 業務執行理事 | 島田 真輔 |

新春特別講演会終了後、同ホテル内「志摩の間」にて、新年賀詞交歓会(懇親会)を開催いたしました。

まず、当工業会 林秀昭 代表理事(株)ハヤシ 代表取締役)から開宴の挨拶がありました。

挨拶では、昨今の会員企業が置かれている経営環境等に触れられ、この状況乗り越えるための各施策について話されました。また、先にご講演を頂いた田岡様のお言葉を引用して「中小企業の持つ、コアな技術を組み合わせて目標を達成する」ことこそ私たちの目指す姿として、当会を運営したいと述べられました。

次に司会からご来賓の皆様のご紹介があり、そしてご来賓の代表として近畿経済産業局の栗原浩介様よりご挨拶を頂戴いたしました。



林会長 開宴の挨拶

乾杯のご発声は私たちの上部団体である、日本金属プレス工業協会（以下、日金協）の茨田学 専務理事にお願いし、「本年も皆様とともに金属プレス業界のさらなる地位向上に取り組みたい」とのお言葉をいただき、皆様のご健勝とご繁栄を祈念し、声高らかに“乾杯”で杯を上げました。



茨田専務理事
乾杯のご発声



ブッフスタイルで開催された賀詞交歓会ですが、皆さん、乾杯後はすぐに料理配膳テーブルに向かうと思いきや、「料理は後で」とばかりに、そこかしこで名刺交換や近況報告などが活発な交流が図られ、活気溢れた会場となりました。

この名刺交換等もようやく落ち着き、皆さん席に座って、おいしい料理やお酒を味わいながらのご歓談。その途中に少しお時間をいただき、ご来賓のインターモールド振興会様から今年開催される金属プレス加工技術展 2026（4 月インテックス大阪、5 月ポートメッセなごや）のご説明をして頂きました。

また、当会青年部会を代表して中辻将喜 青年部会会長（㈱大喜金属製作所 代表取締役社長）より、当会の青年部会と日金協の次世代会の PR がありました。

終始和気あいあいとした雰囲気の中で進んだ賀詞交歓会でしたが、残念ながら時間も来てしまい、閉宴の挨拶を島田真輔 業務執行理事（カネエム工業㈱ 代表取締役社長）が行ない、最後は一丁締めにて楽しい懇親会を閉宴いたしました。



島田業務執行理事
閉宴の挨拶

ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。

また来年も同じ時期に開催しますので、まだお足を運ばれていない会員の皆様、ぜひお越しください。

きっと“いいもの”が見つかると思います。

金属プレス研修塾 大阪鋼圧見学

日 時 : 令和8年(2026年)2月10日(火) 14:00 ~ 16:00
訪 問 先 : 株式会社大阪鋼圧株式会社 (大阪府大阪市大正区泉尾 7-1-11)
内 容 : 挨拶、会社説明、見学(スリッターライン、レベラーライン)、質疑応答など
参 加 者 : 17名(塾生11名、他3名)

金属プレス研修塾は、金属プレス製品が出来るまでの過程(①製鉄所→②コイルセンター→③金型製作→④プレス製品製作)を学びますが、今回は②コイルセンターの会社見学として、大阪鋼圧(株)を訪問しました。

コイルセンターとは、鉄鋼メーカーで製造されたホットコイル(熱延帯鋼ともいいます)を専用の加工ラインで矯正したり切断することで平らな板にしたり(レベラー加工)、狭い幅に裁断したり(スリット加工)する会社で、今回訪問させていただいた大阪鋼圧(株)は、昭和29年(1954年)3月創業、熱延帯鋼のスリット・レベラー加工鋼板・帯鋼の販売を行っている会社です。



大阪鋼圧(株)に到着後、まずは稗田社長からのご挨拶、次に会社を紹介していただき、見学に出発しました。2班に分かれての見学、大きな音の出る機械が多いため、インカムでの説明など、塾生たちは理解しやすい環境で工場見学を行うことができました。



3号・5号のスリットライン、6号のレベラーラインを見学、どちらのラインも自動化が進んでおり、従業員の皆さんがコントロールパネルのボタンを操作しながら、工程を進めていました。ただ、すべてが自動化されているのではなく、手作業の部分もあり、そこは熟練の技が発揮される業務であり、危険と隣り合わせの職場でもありました。この点は、みんなで改善提案を出し合うことで、ゼロ災継続に向けて取り組んでいる、とのことでした。

今回の工場見学で特筆すべき点は、大阪鋼圧(株)では工場内での写真も動画も撮影OKで、塾生も多くの写真や動画を撮っていました。また、身近にラインを見学させていただけることは珍しく、とても貴重な経験となりました。

さらに、会社はマンション等が立地する中にあり、騒音など環境問題にも取り組み、地域社会の一員として共存共栄しているお話も聞くことができました。

このような経験ができる機会はそう多くありません。第4期も募集予定ですので、会員企業の従業員の方への学びの場として、ぜひご検討~参加いただけると幸いです。



1. 高度な加工技術と自動化による効率化

- ・ 巨大なレベラーで厚板のわずかな歪みまで矯正し、平坦度を極限まで高める工程は、製品品質を左右する核心的な技術として強い印象を受けた
- ・ 12mmの厚材をスリットする迫力ある加工に加え、刃組交換ロボットによる時間短縮、2ドラムテンションリール、自動梱包装置などの最新設備の導入により、安全性向上と大幅な段取り短縮、稼働率アップを両立させていると感じた

2. 厳格な品質管理とデジタルの活用



- ・ 品質管理者になるための試験が周期的に行われており、落ちれば資格剥奪という中でいかに品質の意識の高さを伺えた
- ・ 材料の表裏面検査を実施するにあたり、社内で認定した検査員を定期的な教育・育成は取り入れたいと感じた
- ・ 技術面では、デジタルノギスによるデータの自動取り込みやバーコードによる出荷管理を積極的に導入し、人為的ミスや誤出荷を徹底的に排除していた
- ・ 裏面検査のために機械の下に人が入れる溝を設けるなど、高品質を生むための物理的な工夫も凝らされていた

3. 安全重視の企業姿勢と 3S/5S の実践

- ・ 大型設備を扱う現場でありながら、工場内は油汚れがなく非常に清潔な状態が保たれていた
- ・ 耳栓やヘルメットの着用、フォークリフトの高さ制限、指差し確認、ヒヤリハット活動の掲示など、安全ルールが細部まで徹底されていた
- ・ 通路の製品角をダンボールで保護したり、近隣の住宅化に伴う騒音問題に配慮したりする細やかな姿勢が見受けられた

4. 活力ある組織と改善の文化

- ・ 現場では若い従業員が数多く活躍しており、5~6名のチーム単位で毎月行われる改善活動を通じて、現場全体が自律的に安全性や効率を追求する文化が根付いていると感じた
- ・ 協働作業の質を保つために、円滑なコミュニケーションを重視しており、高い組織力が小ロット・短納期という顧客ニーズへの柔軟な対応を可能にしていると感じた



5. その他

- ・ 「後工程（プレス加工）で困らないようにする」という前工程としての責任感を感じた
- ・ 作業の標準化や自動化、検査員の育成方法など、具体的な改善策を自社でも展開したい

以上

各委員会 活動報告

| 開催日時、場所 | 内容 | 参加者 | |
|--|--|-----|--|
| 総務・経営委員会 2026/01/22 (木) 八尾市 | ・新春特別講演会 および 賀詞交歓会の運営検討 他 | 4名 |  |
| 青年部2月例会 2026/02/16 (月) 工業会事務局 | ・新規入会者顔合わせ ・青年部会則の改訂検討 ・次年度総会対策 他 | 4名 |  |
| 正副会長会 2026/02/13 (金) 工業会事務局 | ・金属プレス加工技術展出版対応 ・新規加入企業の承認 ・第4期研修塾の開催 ・現代の名工候補推薦 他 | 6名 |  |

青年部会 活動報告

大阪金属プレス工業会の青年部会とは、50歳以下の次代を担う若手経営者及び経営幹部による活動の場で、近況報告会や勉強会（講師例会）、工場見学会などを実施して経営者としての見識・教養を高め、会員同士の交流を深めています。

また、大阪、京都、愛知（名古屋）の金属プレス工業会の青年部でも『3地区合流交流』として、大阪だけでは得難い情報収集や人脈構築の場を設けています。

さらに日本金属プレス工業協会においても、昨年5月7日に若手経営者の会「次世代会」を発足、当会の大喜金属製作所の中辻将喜社長（当会の青年部会長）が副会長に就任、工場見学会や交流会などを通じ、情報交換の場を広げ、業界の活性化を狙うことを目的に運営されています。

青年部会では会員を募集しています

50歳以下の若手経営者及び経営幹部の方で興味のある方は事務局まで（TEL：06-6762-8629）

金属プレス加工技術展 2026 大阪 ご案内

開催日時 2026年(令和8年) 4月15日(水)～17日(金) 10:00～17:00

開催場所 インテックス大阪

(大阪金属プレス工業会 正会員企業の出展予定)

- ・アートウインズ・シートメタル株式会社
- ・株式会社 青戸金属
- ・朝田金属工業株式会社
- ・飯田金属工業株式会社
- ・株式会社岡野製作所
- ・株式会社関西発條製作所
- ・佐々木工業株式会社
- ・株式会社サンコー技研
- ・株式会社双和製作所
- ・タチバナ精機株式会社
- ・株式会社寺方工作所
- ・株式会社豊里金属工業
- ・中野工業株式会社
- ・株式会社 ハヤシ
- ・株式会社ビゼン
- ・プレテック株式会社



一般社団法人大阪金属プレス工業会の小分けブース (3社)

- ・株式会社カサタニ
- ・三洋金属工業株式会社
- ・ムラテックフロンティア株式会社

(合計 19社 プレスメーカーなど大手賛助会員は除く)

(一社)日本金属プレス工業協会 特別講演

事前登録制

※公式サイトより事前来場登録後マイページよりご登録ください。

SP2-23) 自動車づくりの大変革期におけるプレス部品づくりの成長戦略 —技術力・生産性向上・ユーザーニーズへの適応力—

- 講師/(一社)愛知県金属プレス工業会 会長 東海鉄工(株) 代表取締役社長 小澤 佳之 氏
 神奈川県金属プレス工業会 前会長 城山工業(株) 代表取締役 山崎 利宏 氏
 (一社)日本金属プレス工業協会 副会長 (株)ハヤシ 代表取締役社長 林 秀昭 氏

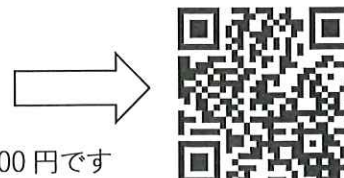
■日時/4月16日(木) 15:00～16:00



完全事前来場登録制

登録をすれば入場は無料です <完全事前来場登録制>

来場者証(プリントアウト)を忘れた方、事前登録なく来場された方は3,000円です



事業主 殿

一般社団法人 東大阪労働基準協会

動力プレス機械の金型調整の業務の特別教育（学科）の開催について

労働安全衛生法では、従業員を動力プレス機械の金型の取り付け、取り外し又は調整の業務につかせる場合は、2時間の実技教育及び4科目計8時間の学科教育を行わねばならないとされ、違反した場合の厳しい罰則規定が設けられているところです。学科教育につきましては、各事業場において個々に実施することが困難なことから、当協会におきまして実施しております。

下記のとおり実施しますので、関係従業員の受講方ご案内いたします。

記

1. 対象者

動力により駆動されるプレス機械の金型、安全装置もしくは安全囲いの取り付け、取り外し又は調整の業務に従事する者（安衛法59条3項安衛則36条2号特別教育規定3条）

2. 日時

2026年5月27日(水) 9:45~19:15

3. 会場

東大阪市文化創造館2F創造支援室C1/東大阪市御厨南二丁目3番4号
近鉄奈良線八戸ノ里駅 北200m 徒歩約5分

4. 受講料（1名あたり/テキスト代・消費税10%込）

大阪金属プレス工業会会員 9,900円 大阪金属プレス工業会会員以外 11,000円

5. 申込先

所定の申込書に必要事項を記入の上、5月20日（水）までに受お申し込みください。

(E-Mail: omsa1@omsa.or.jp または FAX: 06-6723-3451)

なお、締切日以降キャンセルされた場合は、受講料を返金いたしません。

6. 講習科目

- ・プレス機械及び安全装置又は安全囲いに関する知識
- ・プレス機械の金型、安全装置もしくは安全囲いの点検、取り付け、調整等に関する知識
- ・プレス機械による作業に関する知識 ・関係法令

7. 修了証

全講習を受講された方に修了証を交付いたします。

※遅刻、早退等で受講時間が足りない方には交付されません。ご注意ください。

8. 実技講習

実技は各事業場において教育してください。

プレス機械の金型、プレス機械、又は安全装置、もしくは安全囲いの点検、取り付け、取り外し及び調整等について … 2時間以上

9. 問い合わせ先

申込業務を（一社）大阪金属プレス工業会が受託していますので、申込までの問い合わせ、および申込以降申請に変更がある場合は以下にお願いします。

大阪金属プレス工業会事務局 福岡 (TEL: 06-6762-8629 E-Mail は上述の通り)

※注意※ 受講希望者10名未満の場合は講習を中止します。

以上

(一社)大阪金属プレス工業会 (会員専用) ※申込はこの用紙のみで可
 送信先 (E-Mail: omsa1@omsa.or.jp または FAX: 06-6723-3451)

動力プレス機械の金型調整特別教育 (学科) 受講申込書

事業所名 : _____
 所在地 : 〒 _____

 連絡担当部署 : _____
 担当者名 : _____
 TEL/FAX : TEL : _____ FAX : _____
 メールアドレス : _____

請求書をメールで送付しますので、必ずメールアドレスを記載下さい

(※印欄には記入しないでください)

| | | | | | |
|---|-----------|----------|---|-----------|----------|
| ※ | フリガナ | | ※ | フリガナ | |
| | 受講者 氏名 | | | 受講者 氏名 | |
| | 生年月日 | 西暦 年 月 日 | | 生年月日 | 西暦 年 月 日 |
| ※ | フリガナ | | ※ | フリガナ | |
| | 受講者 氏名 | | | 受講者 氏名 | |
| | 生年月日 | 西暦 年 月 日 | | 生年月日 | 西暦 年 月 日 |
| ※ | フリガナ | | ※ | フリガナ | |
| | 受講者 氏名 | | | 受講者 氏名 | |
| | 生年月日 | 西暦 年 月 日 | | 生年月日 | 西暦 年 月 日 |

■ 受講者 : 名 合計 円

■ 振込先 : 関西みらい銀行 東大阪永和支店 普通 0073577 シヤ) ヒガ'シオサカロウト'ウキ'ユンキョウカイ

- ・ 申込書を送付いただきましたら、(一社)東大阪労働基準協会より、請求書をメールで送付いたします。
 - ・ 受講料のご入金をこちらで確認しましたら申込み完了となります。
 - ・ ご担当者様に受講票を、(一社)東大阪労働基準協会より、メール添付でお送りいたします。
(ご記入いただいたアドレスに送信できない場合は FAX いたします。)
 - ・ 受講票がご入金日から 7 営業日以内に届かない場合は (一社)東大阪労働基準協会までご連絡ください。
 - ・ 旧姓または通称の併記を希望する場合は、申込時にご連絡ください。
(住民票の写し等の公的な証明書の提出が必要になります)
- ※ 締切日までに定員に達する場合があります。
 ※ 入金締切日が過ぎたキャンセルは返金できません。ご了承ください。
 ※ 受講される方の変更は前日まで受け付けます。(一社)大阪金属プレス工業会まで、電話にてご連絡下さい。

登録番号 : T2122005000151

一般社団法人 大阪金属プレス工業会
 〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 5-5-15-202
 TEL 06-6762-8629 / FAX 06-6762-7633

一般社団法人 東大阪労働基準協会
 〒577-0809 大阪府東大阪市永和 1-6-16
 TEL 06-6723-3450 / FAX 06-6723-3451

会員の皆様を「守り育てる」 会員の皆様と一緒に「未来につなぐ」

(一社)大阪金属プレス工業会50周年 会員パートナー宣言

我が工業会ならではの情報発信力とネットワーク環境を活かしながら
会員各社の社員様の育成のお手伝いをし
各社の業績の向上を支援します。

そしてこれらの果実を享受した会員自身が
次に工業会の情報収集力とネットワークをさらに強めていきます。
会員総てが工業会のパートナーとしての自覚を持っているからです。

ますます厳しさを増すグローバル競争の中
50周年を機に、ここ関西・大阪の地で活躍する会員の皆様が発展され
それが大阪のプレス業界を活性化して
将来世代に夢と希望を繋ぐことを目指します。

2016年5月26日

一般社団法人 大阪金属プレス工業会 理事一同

一般社団法人 大阪金属プレス工業会 公式HP



一般社団法人 大阪金属プレス工業会 公式facebook



一般社団法人 大阪金属プレス工業会 公式LINE 友だち登録
(会員企業用)

